

田舎モダン



開成町

kaisei town

# 議会だより



小さな町から 元気を発信



## 9月定例会議 No.194

平成30年11月1日発行

- 平成29年度決算 全員が認定 2～6
- 町政を問う！一般質問に10名が登壇 7～12
- 随時議会開催 委員会活動報告 13～14

幼稚園施設整備事業費

1億418万  
1千円



幼稚園大規模改修工事

平成31年度開始に向けた3年間教育のための開成幼稚園大規模改修工事が完了しました。空調設備の設置やバリアフリー化、外装塗装等を行い、幼稚園舎の装いが新たに変わりました。

平成29年度  
決算のここを  
チェック



平成29年度決算の中で、主な事業等を紹介いたします。

減災対策事業費

177万  
7千円



感震ブレーカー設置

近年増加している自然災害などに対し、特に「減災」を意識し、地域防災力の向上に努めました。大地震に伴う火災原因の多くが電気によるものであることから、通電火災の危険性を訴え、自治会と協働して感震ブレーカーの設置を新たに始めました。

母子保健事業費

1,777万  
4千円



母子健康包括支援センター  
「ひだまり」の設置

母子健康包括支援センター「ひだまり」を保健センター内に設置し、次世代を担う子どもを安心して生み育てられるように、妊娠・出産・子育てまで切れ目ない支援を行いました。

消防団等  
活動推進事業費

1,866万  
3千円



消防団員の確保及び地域防災力の強化を目的とした「開成町消防組織強化推進連絡協議会」を設置し、町、消防団関係者、自治会、町内事業所等と連携して消防団員の募集やPR活動を展開しました。

あしがり郷瀬戸屋敷  
維持管理事業費

2,802万  
1千円



北部地域の交流・観光拠点である瀬戸屋敷に、指定管理者制度を導入し、せとわらしまつりをはじめとしたイベントの充実や案内所を改修してカフェを新たにオープンするなど民間事業者の能力や経験を取り入れ、施設利用の促進・地域活性化を図りました。

人事案件

○教育長の任命  
・井上 義文氏（吉田島）  
教育長の任期が平成30年9月30日をもって満了となるため、後任の教育長の選任。  
〈全員賛成で同意〉

○固定資産評価審査委員の選任  
・藤井 宏氏（中之名）  
固定資産評価審査委員のうち1名の任期が平成30年10月12日をもって満了となるため、引き続き同人を再任。  
〈全員賛成で同意〉

9月定例会議  
どう使われたのか  
平成29年度決算審議

質疑

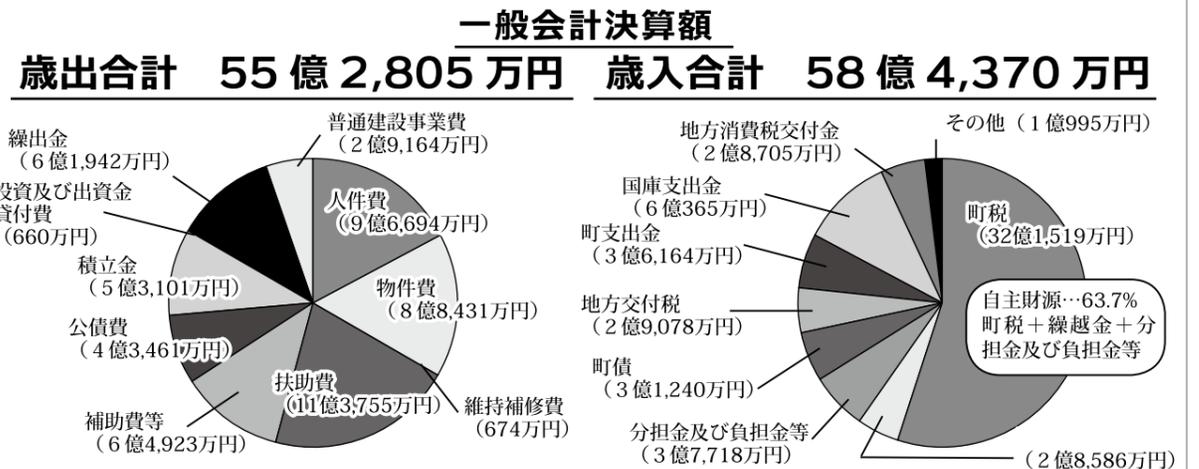
問  
文命中学校にエアコンを来年の夏までに設置可能なのか。

答  
一般的には設計から施工まで8か月程度かかる。まずは一日でも早く設計・工事を施工し、なるべく早い時期に空調を設置できるように進めていく。

補正予算

○平成30年度一般会計補正予算（第2号）  
主な内容は、「洪水ハザードマップ作成委託料」として、各地で豪雨災害が発生していることから、早期にハザードマップを策定し、浸水想定訓練を行う。  
「空調設備設置工事設計業務委託料」として、文命中学校の普通教室等への空調設置工事を早期に進めるための設計業務委託料を計上。  
〈全員賛成〉

平成29年度歳入歳出決算額



主な事業は次のページ、P4~5をチェック!

会計名	歳入決算額	歳出決算額
国民健康保険特別会計	202,120	182,782
下水道事業特別会計	58,928	56,645
介護保険事業特別会計	110,834	104,669
給食事業特別会計	8,736	8,700
後期高齢者医療事業特別会計	19,786	18,837
水道事業特別会計	31,388	37,203
総額	1,016,162	961,641

特別会計・企業会計決算

# 質疑

## Q&A



# 平成29年度 決算審議

平成29年度の一般会計及び各特別会計、企業会計決算について、9月定例会議において審議を行いました。審議は町政全般にわたり、数多くの質疑がありました。その中から、いくつかをお知らせします。

## 母子健康包括支援センター その成果は

**問** 妊娠・出産・子育てのワンストップ、また、切れ目がないというフリーズで事業展開した成果は。  
**答** 従来の相談機能に加え、非常勤の助産師や保健師等が、週2回、各家を訪問して、随時相談するなど、これまで以上にわかかわることができた。専門の保健師が相談に乗る体制もできており、必要に応じて支援プランの作成も行っているので、これまで以上に充実した相談体制であると考えている。



ママパパ教室

## 感震ブレイカー設置補助で 自治会加入促進は

**問** 自治会と協働して設置を進めたが、最近では地震が各地で多発している。より一層、強化を進めるための事業展開は。また、自治会未加入者への促進は。  
**答** 4年間で6,500台を目標に設定し、初年度は自治会加入者を対象に1,339台設置した。今後、自治会未加入者にもこれをきっかけに自治会に入って設置していただき、全体で減災を進めていきたい。



## 災害時の備蓄 現状は

**問** 町はアルファ米をどのくらい確保できているのか。  
**答** 本町では防災備蓄品の備蓄指針を定めており、想定避難者数の3日分の3割にあたる2万382食を備蓄する計画である。平成30年4月1日現在でアルファ米は、長期間保存できるものとして、1万550食を備蓄しており、計画的に増やしている。



もしものための備えは

## 本町の給食の実態 給食費の値上げは

**問** 給食費を値上げた自治体もあり、今後、値上げの可能性は。  
**答** 1か月程度、食料が調達できなかつたり、消費税が上がったり、大変な時期があったが、本町においては、栄養士の努力があり、見た目は若干さびしいという御意見もあったが、カロリーをしっかりと確保し、乗り切ることができた。今後は消費税も上がった際に軽減税率などもふまえ、考えていきたい。

## 子どもたちの 給食に地元食材も

**問** 学校の食材の購入にあたって、ここ3年、地元業者から購入がない。なるべく地元食材も使っていたらいいが。  
**答** 基本的に業者の選定は、給食管理委員会が公平な目で、保護者も入った中で選考を行っている。町としてもなるべく



みんなで楽しく給食を

## 高齢化率が年々増加 地域支援包括センター事業の成果は

**問** 地域包括支援センター事業の成果は。  
**答** 要支援者が増えたり、相談件数も徐々に増えているが、地域包括支援センターや社協の事業は、少しずつ地域に定着してきていると評価している。今後もしも細かい



## 指定管理者導入1年目の成果は

**問** 瀬戸屋敷に指定管理者制度を導入し、管理を含め、事業が充実しているか。  
**答** 指定管理者から維持管理運営や自主事業の関係、10月にカフェがオープンしてからの収支等の

## 町を守る消防団員 人員確保は

**問** 町の消防団員が平成29年3月現在、10名欠員であり、協議会を立ち上げて、団員の獲得に向けて活動したことによる成果や課題は。  
**答** 協議会を立ち上げ、団員の確保を目指したが、昨年よりも減っている。その中でも、昨年は町の広報に載せ、幼稚園の夏祭り等で活動をした中では、消防団員が少なく感じた若い人たちが入団するケースもあり、今までは違う形で意識を持ち、入団した方もいる。少しずつ団員の確保を進めていきたいと考えている。



町を守る消防団員の確保を

平成30年開成町議会 9月定例会議議案審議結果

提出	議決日	議案名	審議結果	佐々木昇	山田貴弘	湯川洋治	前田せつよ	石田史行	菊川敬人	下山千津子	和田繁雄	井上三史	星野洋一	吉田敏郎	
町長	9/5	教育長の任命について (★教育長の任期が平成30年9月30日をもって満了となるため、後任の教育長の任命)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		固定資産評価審査委員会委員の選任について (★委員のうち1名の任期が平成30年10月12日をもって満了となるため、引き続き同人を再任)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		指定管理者の指定について(みなみ自治会館) (★みなみ自治会館の管理者をみなみ自治会に指定する案件)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9/12	決算認定について(一般会計)	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		決算認定について(国民健康保険特別会計)	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		決算認定について(下水道事業特別会計)	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		決算認定について(介護保険事業特別会計)	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		決算認定について(給食事業特別会計)	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		決算認定について(後期高齢者医療事業特別会計)	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		決算認定について(水道事業会計)	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成29年度開成町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成30年度開成町一般会計補正予算(第3号)について (★主に文命中学校エアコン設置に係る工事設計業務委託料や洪水ハザードマップ作成委託料、町道維持補修工事費など)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成30年度開成町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について (★主に国庫支出金返納金や財政調整基金積立金など)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成30年度開成町下水道事業特別会計補正予算(第1号)について (★決算で確定した歳入歳出の差額を平成30年度に繰り越すなど)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成30年度開成町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)について (★主に介護予防住宅改修費給付金や介護保険財政調整基金積立金など)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度開成町給食事業特別会計補正予算(第1号)について (★開成小・文命中・幼稚園の給食材料の購入費)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
平成30年度開成町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)について (★主に町村情報システムの負担金の補正など)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

★茅沼隆文議長は採決に加わらない。 ○は賛成した者 ●は賛成しなかった者 「除」は除斥 「欠」は欠席

# 町政を問う 一般質問

※一般質問：議員が町の行政について質疑し、町側に答弁を求めるものです。

※質問者本人の原稿を、広報分科会委員が議事録に基づき校正しています。

## 町長二期目の総括と三期目へ向けた決意を問う

まだ半年の任期を残しているが、二期目を総括して、その結果を報告し、三期目へ向けて出馬表明を示すべきである。

**問** 開成駅急行停車とバス路線の乗り入れを取り上げているが、開成駅に急行を停めてもらうために小田急に定期的に訪問されたと聞いている。停めてもらうためにとられた手段は。

**答** 年間、小田急の社長に3回会う機会があり、町の現状やこれからどういう町を目指していくのかを話し、開成駅に急行を停めることにより、小田急にとつてのメリットの話をした。駅前整備を考えると必要がある。農産物の加工所や直売所の整備がある。しかし、運用の詳細が明確に示されていないので、さらに計画を加速すべき。

**答** 北部地域の瀬戸屋敷周辺整備をすることに、北部の活性化の拠点にしていきたい。北部地域の課題は、農地を守っていく高齢者の問題や後継者



菊川 敬人 議員



瀬戸屋敷周辺整備を

の問題がある。生産者の所得を少しでも上げていくことは大事なことだ。

**問** 経常収支比率は自治体の財政構造の弾力性を示すものであるが、平成27年度は84・3%であった。29年度では83・5%と弾力性が増している。実質公債費比率も、27年度は10・2%から29年度は6・7%と減少している。この数値をどう考えるか。

**答** 実質公債費比率、3年平均が出ている。平成24年度が11%、25年度が11・2%、28年度が8・2%、29年度は6・7%数字が下がっている。計画を立て、どういう財政でやっていくのが必要。30年度、31年度で役場庁舎の建て替えのために借入をする。その中でシミュレーションしてきちんと考えている。

## 豊かな自然環境と共生するまちづくりのために



前田せつよ 議員

ここ数十年の気候変動や国際化は、人間の生活や自然の生態系に対して危機的な影響を与えている。国は、2005年に特定外来生物による生態系に係る被害の防止に関する法律（外来生物法）を施行した。特定外来植物のオオキンケイギクは、県内及び近隣自治体で、規制や防除について住民への理解促進に取り組んでいる。

**問** 特定外来植物オオキンケイギクは、繁殖力が強く、日本古来の在来種を絶やし、キリギリスやバッタも生息できず、植物を抜いた後は何年もその土は使えないという。

**答** 県では、特定外来植物アドバイザーの無料派遣制度を実施しており、早急に利用しては。

**問** アドバイザー制度を利用して、生き物の調査等を実施したい。

**答** 広域連携の中で、SNSを利用した情報収集などの施策展開の考えは。

**問** 県等の専門知識を持った方々と連携を取りながら対応を考えていきたい。

まずは、住民周知から始めていきたい。

**問** 「環境・防災フェア」または「エコひろば」の充実策は。

**答** 本年度は、「エコひろば」にかえて、ペット同行避難・犬のしつけ教室事業にあわせ、地球温暖化対策のためのゼロエネルギーハウスの普及促進など、環境と防災のイベントを年内に開催する予定。

**問** 2015年9月国連サミットにおいて持続可能な開発目標「SDGs」が設定された。2030年までに全ての国が達成すべき目標として、貧困、教育、気候変動など17項目に渡って取り組む。日本の自治体なども、その理念や施策を取り入れる動きが活発化しているが。

**答** 第五次開成町総合計画後期基本計画に「SDGs」の視点を活用していきたい。



オオキンケイギク

## 時代の変化を捉えたイベント（仕掛け）の企画を

町（実行委員会形式を含む）が開催する各種イベントのあり方について、内容、運営方法にさらなる変化を求める声が上がっている。

**問** イベント実施に伴い、来客数、出店ブース売り上げの推移状況、来客者の特徴、性別、年齢3区分、外国人、交通手段、情報発信元等の分析を。

**答** 外国人に特化した分析は行っていないが、新たな観光ビジョンであるインバウンドの推進の観点から、今後は内容に盛り込んでいくことを検討する必要がある、出店者アンケートも実施する。

**問** 福祉・防犯・防災事業を内容に盛り込んだイベントの構築を。

**答** 実行委員会にきちんと伝えていく。「あじさいまつり」岡野あじさいの里会場に、あじさいの里と違った付加価値の創造、年間を通じた観光客の流入を。

**問** 点での移動になっている人の移動を面にしていくための方策について、



山田 貴弘 議員



あじさいまつり開園式

実行委員会と調整、検討する。

**問** 「阿波おどり」足柄紫水大橋をメイン会場とし、よさこい踊り（大井町）、阿波おどり（開成町）の、踊りの広域交流を促進しては。

**答** 現在のところ交流開催は考えてないが、提案について、連協会・実行委員会に伝える。

**問** 新横浜にグルメタワー「GEMS新横浜」がオープン。これは開成町の契約農家のお米を使ったメニューを提供している。GEMS新横浜は「10のおいしいが輝く新横浜のグルメタワー」をコンセプトにお客様の集客を図っている。

**答** お米を提供している実態がある中で、グルメ、お米をテーマにしたイベントの開催を。

**問** 良いヒントとは思う。ブランドに苦慮している町としては、お米だけに頼ることはできないが、着実に進めていきたい。

## ふるさと納税で町に活力を



佐々木 昇 議員

本町では、平成28年11月から返礼品をつけたふるさと納税への取り組みを開始しており、今年で3年目となる。これまで行ってきた取り組みをさらに充実させ、寄附者の気持ちに伝えられるまちづくりを目指した取り組みが必要と考える。

**問** ふるさと納税の使用目的を明確にしては。

**答** 年内には開成駅東口のロマンスカーを活用したクラウドファンディング型ふるさと納税を導入する予定である。ロマンスカーの維持管理費に充当するための特定目的型の寄附で、今後、こういった取り組みは順次拡大していきたい。

**問** 県内では、ふるさと納税の所管課は財政の担当課が多く、他にも商工観光課が担当している自治体があるが、状況の把握は。

**答** 県内には33市町村あり、財務関係所管課が担当しているのが21自治体、企画広報7自治体、商工観光3自治体、

税務所管課1自治体、本町のみが総務課である。

**問** 総務課が担当している本町の考えは。

**答** ふるさと納税が始まった当初から根本的には良い制度とは思っていません。本町では導入をしない姿勢であった。しかし、町民税の流出が無視できないということで、始めることにした。一義的には一般財源としての補填、町民税の流出分を補填するという意味で一般寄附の受け入れだったので、当然ながら、総務課で所管してきました。

**問** ふるさと納税制度は、財源の確保、商工振興、観光、また、開成町ブランドの推進など、いろいろな取り組みに絡んでくる。やるからには全力で取り組むべきだと思うが。

**答** 制度がある以上は、その中で最大の活用をしながら進めていきたいと考えている。



開成駅東口のロンちゃん

## 豪雨災害にどう備えるか

西日本での集中豪雨による災害の中で、特に愛媛県大州市の洪水被害は、同じように上流にダムがあり平坦な土地に築かれた本町の防災対策について大変教訓となった。いつ起きても不思議でない洪水対策について早急なる検討をする必要がある。

**問** 酒匂川右岸や町内各水路の危険個所の対応は。

**答** 酒匂川は、100年に一度発生する規模の一日の総雨量355ミリメートルに対応する整備が概ね終了している。県は平成29年に酒匂川、平成30年7月に仙了川、要定川の洪水浸水想定区域図を公表しており開成町では広い区域で浸水する想定となっている。洪水対策の根幹である護岸整備等には適切に実施するよう要望している。

**問** 全町民避難勧告が出た場合の対応は。

**答** 洪水浸水想定区域図を見ても開成町全域が浸水して、全町民に対して避難勧告を発令する可能性は低いと考え



湯川 洋治 議員



豪雨災害発生時の備えは

ている。災害発生が予想される状況においては、広域避難所の開設準備など自主避難者への対応を行い、さらに氾濫の危険がある場合には、避難勧告、避難指示の順に発令を行う。水害時避難する場所は広域避難所など高い建物浸水災害発生時における一時避難場所として協定を締結している町内5事業所の浸水災害時一時避難場所に限られている。さらに協力を求めながら避難場所を確保していきたい。

**問** 豪雨災害を想定した全町民を対象とした訓練の予定は。

**答** 今年度、ハザードマップの改定を考えている。また、来年2月には町内全地区を対象とした浸水想定避難訓練を実施する予定である。

## 教育現場における暑さ対策を問う



石田 史行 議員

今年、豪雨災害と猛暑しか記憶に残らない夏であった。豪雨はもちろんもはや猛暑も命に危険が及ぶ災害と認識すべきである。

**問** 町の教育現場における暑さ対策は万全なのか憂慮するが。

**答** 教育現場の暑さ対策に対して重要な判断をした。普通教室に空調設備が未設置である教育施設は文命中学校のみ、子どもたちの健康面を最優先に考え、来年度中に文命中学校の教室に空調設備を設置する準備を直ちに進めるよう教育長に伝えた。

**問** 来年度中というのは、夏場までには整備されるという認識でよいか。

**答** 受電容量が足りない。受電設備を整備して工事に取りかかると全て夏までにとるのは難しいが、遅くとも来年度中には完全につけるということを目指してやっていく。少なくとも来年の夏に、部分的にでも暑さを退避できるような設備を整えたいということから詳細を詰めた。

**問** 小・中学校の体育館は、単なる運動施設にとどまらず集会施設でもある児童集会や全校集会を暑い中でやる場合もある。加えて夏場の災害時の広域避難所ともなることを考えれば、国の交付金を活用するなどして空調設備の設置を検討すべきではないか。

**答** 今の状況では難しいが、将来的に必要なになったときに、つけられるような準備は今回の設計業務の中で見越して、次の工事の中で受電設備、配線等々は考えていきたい。

**問** 学校に教科書等を置いて帰る「置き勉」について、文科省が容認する通知を近く出す方針を固めたと報じられているが、通知への対応は。

**答** 選択させてやっていることなのであまり通知によって変わるといったことはない。



## 「田舎モダン」で更なる定住促進を

快速急行と急行電車が開成駅に停車する旨の新聞報道がされた。今こそ定住促進や交流人口を増やして活性化のための手立てを総合的に再編し、戦略的な情報発信が重要と考える。あじさいちゃんを公式マスコットキャラクターにし、情報発信して、平成28年度ゆるキャラグランプリでは、県内自治体第1位である。

**問** 定住促進と活性化に向けて企業や団体との連携を図りながら本町のキャラクターをどう活かしていくのか。

**答** 町民の象徴としてブランディングの取り組みに起用し、自分の住む町への愛着や誇りの醸成の観点からイベントの参加を積極的に進める。職員のみへの対応に限界があり、町民団体等の協働を考えている。

**問** ブランディング戦略推進事業全般についての評価と今後の展望は。

**答** 人口減少が進行する県西地域において、人口が増加し続けていること。ブランディングは開成町らしさをPR



下山千津子 議員



ブランディング戦略で定住促進を

することで「住みたい・訪れたい」という意向を高めることが目的であること。近隣市町との関係性では、人口の奪い合いでなく「開成町らしさ」を追求し、協働のまちづくりを加速させていくことが重要と考える。

**問** 町内外における定住促進等の推進体制をどのようにしていくのか。

**答** 定住促進のための補助制度を創設する市町村もあるが、現時点では本町において、定住促進を目的とした補助制度創設等の考えはない。

**問** 第五次開成町総合計画では、南部地区開発等で人口増が見込まれ、平成34年度で1万9300人と推計された。今後、官民連携で定住促進に取り組まない計画人口は厳しく感じるが。

**答** ブランディング戦略で発信している。

## 新庁舎供用までの窓口業務と供用後の町民センターの利活用を問う



吉田 敏郎 議員

各種の窓口業務サービスが町民に対して充実した対応を検証し、改めてサービスの仕方を検討する必要がある。

**問** 窓口業務の更なるサービスの充実には。

**答** 全職員に意識啓発を促すための接遇研修を重点的に実施し、特に「聴く」という意識の醸成、技能の強化を図っていく。

**問** 本庁舎でも、午後8時まで延長窓口を設けるのは。

**答** 今のところ、夜間、開けることは考えていない。

**問** 町民の声が多く出るなら、曜日によって延長窓口を考えることは。

**答** 転入転出の手続きが多い3月の土・日に1回ずつ開設している。今後は、状況を鑑みて考えて参りたい。

**問** 窓口での話が筒抜けで聞こえてしまう、ガードの設置は。

**答** 手元が隠れる仕切り板は置いてある。事情がある方は、パーテーションのあるマイナンバーカードの交付窓口

で対応したい。

**問** 広く町民、住民の声を聴く「町長への手紙」の投書箱を設け、職員間のPCで共有しその後の対応に活用する「広聴マニュアル」の作成を。

**答** 庁内で、要望等を共有する体制には至っていないが、所管課にて、方針・対応等を協議し、決裁の順序、範囲等も規定をしている。

**問** 町長への手紙に関しての考えは。

**答** 意識のある人は、自分で出すことが出来る。あらゆる手段を皆さんに提供するのは大事だと思う。

**問** 新庁舎供用後の町民センターの利活用は。

**答** 2階の空きスペースに、町民活動サポーターセンターを予定している。具体的な利活用方法については関係課、町民公益活動団体、協働推進会議の中で検討を進めている。大規模な改修工事は考えていないが、2020年以降のあるべき姿について、出来るだけ早く方針を定める。



## 公共用地における樹木等の管理について問う

植栽後、年数が経過し、大木化が進んでいる樹木もあり、台風による倒木などの危険性の高まりや、根上がりによる通行への支障も起きている。また、ムクドリのおぐらになるなどの問題も発生してきている。

**問** 公園の樹木や街路樹の計画的な管理維持指針は作成されているか。

**答** 管理維持に係る指針等を作成していない。作業を実施する段階において事前に現地を確認し、必要な諸作業を調整している。

**問** 町道255号線の松の管理は県であるが、台風のように強い風が吹いた場合、道路上に倒れて、大変危険な災害になると思われる。松の管理は、年ごとのくらい行なっているか。県と町はしっかりと報告、関係がなされているか。

**答** 指摘のとおり、松は大変古い木で育成して大きくなっている。自治会や付近の方からも要望を受けている。通常気付く範囲、また、町民の方から寄

せられた中で県に適宜要望し対応している。

**問** 駅前の街路樹にムクドリがまた集まってきたりしている。街路樹をもう少し強く剪定する考えはあるか。

**答** また戻りつつあるかもしれないと見ている。もう少し状況を見させていいただき、適宜状況に応じた対応を考えていきたい。

**問** 瀬戸屋敷の樹木に対する維持管理は適切になされているか。

**答** 瀬戸屋敷の樹木については平成23年の台風により樹木が倒れ、土蔵が損壊したことを受け、次年度から毎年敷地内の中低木の剪定を計画的に実施した。高木24本については、5年に一度は手が入るように計画的に実施し、今年度は5本の高木を剪定する予定である。



星野 洋一 議員

防災（減災）対策の現状と今後の深化の方針について問う



井上 三史 議員

開成駅及び駅周辺の  
利便性向上を問う

小田急は駅のホーム延伸工事を実施し、10両編成の快速急行と急行を停車させる。

そこで、駅及びその周辺のさらなる利便性向上を追求し、意図的計画的なまちづくりを目指す必要がある。

**問** 小田急と新たに交渉する策は。

**答** 具体的に進めていくために、小田急との情報や意見を交換する場の設置が重要であると認識しており、既に関係課による調整を3回ほど行っている。今後も、駅機能の向上や駅利用者の利便性向上、さらに駅周辺の整備について協議を重ねていく。



**問** 成人年齢が18歳になった初年度の成人式の構想は。

**答** 国において成人式のあり方等について2019年度末には意見を取りまとめる予定となっており、結果を受け次第、実施内容等を決定していきたい。

7月随時会議

文命中学校修学旅行  
延期に係る案件を審議

○平成30年度一般会計補正予算（第2号）

関西方面で予定していた文命中学校修学旅行を、大阪北部地震発生に伴い、延期とした際にキャンセル料が発生したため、予備費から相当分の302万9千円を中学校に補助するもの。

〈全員賛成〉

10月随時会議

非常勤職員の報酬額に  
関する条例改正を審議

○開成町非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

県の最低賃金改正に伴い、非常勤職員の賃金と合わせ、報酬額を次のように改正するもの。

県の最低賃金が10月1日付けで、956円から983円に増額。

- 一般事務員  
（改正前） 980円  
（改正後） 1,000円
- 徴収嘱託員  
（改正前） 980円  
（改正後） 1,000円



平成30年開成町議会 随時会議議案審議結果

提出	議決日	議案名	審議結果	佐々木昇	山田貴弘	湯川洋治	前田せつよ	石田史行	菊川敬人	下山千津子	和田繁雄	井上三史	星野洋一	吉田敏郎
町長	7/25	平成30年度開成町一般会計補正予算（第2号）について （★文命中学校修学旅行延期に係る案件）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		工事請負契約の締結について （★開成町新庁舎建設工事の工事請負契約を締結するため）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	10/9	開成町非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例を制定することについて （★県の最低賃金改正に伴う、非常勤職員の報酬額の改正）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

★茅沼隆文議長は採決に加わらない。 ○は賛成した者 ●は賛成しなかった者 「除」は除斥 「欠」は欠席

視察 来町

茨城県潮来市議会

本町議会の「議会基本条例」を視察するため、10月5日に茨城県潮来市議会が来町されました。

潮来市は、茨城県東南部に位置し、東部は北浦に面し、西部は霞ヶ浦と北利根川、南部は外浪逆浦というように、水辺に囲まれた自然豊かなまちです。

気候は、四季を通じて穏やかで、夏涼しく冬暖かな海洋性の気候となっています。

平成13年4月1日、潮来町と牛堀町が合併して潮来市となりました。

潮来市のデータ

人口	28,240人
面積	71.40km <sup>2</sup>
市の木	ポプラ
市の花	アヤメ
市の鳥	ヨシキリ

平成30年9月1日現在



潮来市議会視察の様子

当日は、本町議会の議会基本条例と、議会基本条例の①逆質問②一般質問③議会報告会④通年議会について、説明しました。

潮来市議会は、議会基本条例を制定しておらず、本町での視察を参考にし、今後は制定するか議論を進めていくとのことでした。

また、議会報告会・意見交換会の運営方法や日曜議会の質問が多くあり、特に通年の会期制は、大変すばらしい取り組みだと評価していただきました。

※本会議の詳細質疑が掲載されている会議録は、議会のホームページに掲載しております。

開成町議会



質疑

**問** キャンセル料を公費負担する根拠は。

**答** 確実にキャンセル料が発生する状況の中で、子どもたちの安全確保が第一と考え、今回は町長の判断で公費負担として実施していきたい。

## 議会の動き

### 8月

- 20日 ●全員協議会  
●教育民生常任委員会
- 27日 ●議会運営委員会  
●議会改革検討委員会  
●広報広聴常任委員会
- 30日 ●総務経済常任委員会

### 9月

- 4日 ●9月定例会議（～12日）
- 12日 ●議会運営委員会  
●新庁舎に関する調査特別委員会
- 21日 ●全員協議会  
●総務経済常任委員会
- 25日 ●西部清掃組合定例会議

### 10月

- 2日 ●県外行政視察（2・3日）  
（熊本県山都町・嘉島町）
- 5日 ●茨城県潮来市議会視察受入  
●足柄上郡議長会定例会

- 9日 ●議会運営委員会  
●10月随時会議
- 10日 ●広報分科会
- 11日 ●教育民生常任委員会
- 19日 ●全員協議会  
●議会改革検討委員会  
●広報分科会
- 24日 ●兵庫県たつの市議会視察受入
- 26日 ●広報広聴常任委員会  
●総務経済常任委員会
- 29日 ●足柄上衛生組合議会定例会  
●議会報告会・意見交換会（金井島）
- 30日 ●議会報告会・意見交換会（牛島・みなみ）

# 現在調査中！ 委員会レポート



## 総務経済 常任委員会

～開成町地元飲料の普及促進に関する条例～



委員長 佐々木 昇

委員会では、本町産の原材料を使用して生産された日本酒、ビール、焼酎、清涼飲料水その他の飲料による乾杯の習慣を広めることにより、地元飲料の普及促進を図り、関連産業の発展及び町民の郷土愛の醸成を通じて、地域の発展に寄与することを目的とした条例案を12月定例会議において議員発議を予定しています。あわせて、所管事務調査「広域連携の可能性及び実効性の研究について」を調査しています。



## 教育民生 常任委員会

～所管事務調査項目～  
防災行政無線に  
関わることについて



委員長 前田せつよ

委員会では、防災行政無線の運用状況と課題及びデジタル化にむけての今後の運用方法などを調査しています。調査にあたり、10月3日の県外行政視察において、熊本県嘉島町の災害復興への取り組み、防災行政無線の運用方法などを視察いたしました。その後、委員会で議論し、12月の定例会議において、所管事務調査報告を行う予定です。



嘉島町視察の様子

## 新庁舎に関する 調査特別委員会

～委員会開催状況～



委員長 吉田 敏郎

第22回目の特別委員会では、全体工程表や仮設事務所、臨時駐車場の説明を受けました。今後も新庁舎建設工事にあたり、進捗状況の報告や変更などが生じた場合には担当課から報告いただき、調査してまいります。

※特別委員会での質疑が掲載されている会議録は議会ホームページに掲載しております。



現在の工事風景

## 県外行政視察で先進事例を学ぶ

### 熊本県山都町・嘉島町

10/2・3

本町では、少子高齢化が進む中、地域包括支援ケアシステムの構築へ向けて、昨年度から自治会で生活支援活動を始めた。そこで先進地を取り組む状況や社会環境を学ぶため、熊本県山都町で研修を行った。

山都町では、地域包括支援センターに2名の専門職を置き、必要な連絡を立ち上げ、医師や企業のトップを巻き込み地域と一体となつて取り組んでいる。本

当にやらなければならないといった意志が伝わり、力強い推進力が感じられた。

また、今年には自然災害（地震・風水害）が多発し、日本中で甚大な被害が発生したとき何を行うことが重要であるか、復興に向け何をやるべきかを体験から学んだことについて聞き取り、町及び

議会の対応すべきことについて学ぶため、嘉島町で研修を行った。嘉島町では、平成28年4月に2度の大地震が発生した。特に初動対応について、災害対策本部の設置、要支援者の避難状況把握等の検証と、注出した課題の取り組みでは、準備不足を改めて確認ができ、災害工程管理システムを見直すとのことであった。

〈代表幹事・菊川敬人〉



嘉島町の皆さまと

# 議会を傍聴しよう！

## 12月定例会議

12月4日(火)から 開会予定

傍聴の際は、住所、氏名、年齢（○歳代）を記入していただきます。審議日程等は議会のホームページに掲載いたします。分からないことがありましたら、お気軽に議会事務局までお問い合わせください（84-0323）。

### お詫びと訂正

議会だより193号の記事に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

<P11>現在調査中！委員会レポートの教育民生常任委員会の防災行政ラジオについて  
※防災行政ラジオは、貸し出し及び販売は行っていません。

## 各種団体の皆さん 議会と懇談会をしませんか！

開成町議会では、議会に対する要望の集約や議会活動の充実とご理解を図るため、町内の各種団体の皆様との懇談会を開催しています。この懇談会は随時受け付けています。開催日程、場所、懇談のテーマなどご相談させていただきますので、お気軽に議会事務局までご連絡ください。

議会と懇談会を希望される団体を随時募集しております！



## 議会議員と開成町を語ろう！ 平成30年度議会報告会・意見交換会

議会活動を町民の皆さまにお知らせするとともに、広く皆さまからのご意見をお聴きするために「議会報告会・意見交換会」を開催しています。

今年度は、次の地域を対象に、議会報告と地域

の現状や課題等のご意見を伺い、問題意識の共有・意見交換をさせていただきます。既に終了した地域もごさいますが、たくさんのご来場お待ちしております。

### ●金井島公民館（10月29日(月)19時00分～）

- ①北部地域の振興策
- ②地震・噴火・酒匂川洪水対策
- ③自治会振興策

### ●牛島自治会館（10月30日(火)19時00分～）

- ①地域の高齢化と自治会活動の進め方
- ②地域包括支援システムへの取り組み
- ③防災対策のあり方
- ④安全安心なまちづくりに向けた施策
- ⑤子ども会の今後のあり方、自治会との関わり方

### ●みなみ自治会館（10月30日(火)19時00分～）

- ①みなみ地区の地域避難所・広域避難所の指定に伴う、地域防災計画の見直し・改正
- ②これからのみなみ地区のまちづくり（道路標識・水路・緑道など）

### ●パレットガーデン自治会館（11月5日(月)19時00分～）

- ①開成駅前第2公園（ロンちゃん公園）の土壌改良・雨水排水対策
- ②開成駅前西交差点の右折信号設置
- ③郵便局の設置
- ④カーブミラーの設置

### ●下延沢自治会館（11月19日(月)19時00分～）

- ①高齢化に伴う自治会役員のなり手不足
- ②高齢化に伴う空き家対策
- ③自治会加入率の向上策

※自治会長また自治会三役から事前に出していただいた地域の課題になります。この他にもご意見・ご要望をお聞かせください！

開成町議会発行 編集／広報広聴常任委員会（広報分科会）

委員長 井上 三史                      委員 佐々木 昇                      菊川 敬人  
副委員長 下山千津子                      山田 貴弘                      星野 洋一

## 議会だよりに掲載する広告を募集しています！

開成町議会では、町民サービスの向上と民間企業等との協働による地域の活性化を目指すことを目的に、議会だよりに掲載する有料広告を募集しています。

有料広告に関する掲載基準や申込書などは、議会ホームページに掲載しています。  
（1 枠につき 1 回5,000円※減免規定あり）

広告



広告

